うきたむ考古通信

2023年7月号

■発行者　うきたむ考古の会
事務局　山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館　内
〒992－0302　山形県東置賜郡高畠町安久津2117
電話0238－52－2585　Fax 0238－52－4665

会事業報告

❤令和5年度うきたむ考古の会役員会

令和５年４月 13 日(土)にうきたむ考古の会の総会を開催しました。役員会は慎重審議の後、総会にかける議案を可決しました。その後、研修会がありました。会員でまほろばの里案内人でもある高橋登さんに「いにしえの石と社寺を巡る高畠東部」というテーマで案内していただきました。最初は来園者が絶えない高畠石を採取した瓜割石庭公園を見学し

瓜割石庭公園

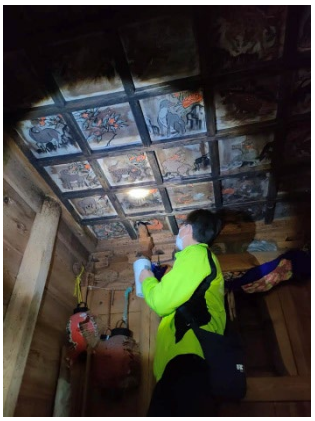
玉龍院五百羅漢

ました。次はこの３月に足掛け７年を要して修復事業が終わったばかりの町指定文化財の玉龍院五百羅漢像を拝観しました。見事に修復された同じ姿・顔のない像は素晴らしいものでした。会員の皆様にも是非見て頂きたいと感じました。

その後、金原熊野神社へ。建物は方二間の春日造、年代は古くはないのですが、彫刻を含め、宮大工の巧みな技が随処に見られる豪壮な建築物でした。堂内の天井には狩野柳王による見事な花鳥獣画が 36 枚描かれて、また、社殿床下から、年代は不明ながら修羅が発見されています。

熊野神社を後にし、金原を更に東に。観音堂を拝観しました。観音堂の中には焼け焦げた聖観音立像が６体残されていましたが、元々、補陀落山観音堂にあったということです。うち１体は像高８尺もある一木造りで火を受けていなかったら、素晴らしいものであった

と思われます。



熊野神社で記念撮影　　熊野神社天井絵　　観音堂の焼けた仏像

次は金原古墳。当地域で最大の横穴式石室をもつ古墳ですが、県の指定にはなっていません。天井石はありませんが、全体の残りは悪くはないと思います。

金原古墳墳丘　　金原古墳横穴式石室　　子育て地蔵尊

最後は子育て地蔵尊。堂は覆屋で地蔵尊は台石にのっていた。行程 2 時間 30 分程の研修でしたが、館の近くにこれ程の文化財があるということを再認識させられました。

♥令和5年度うきたむ考古の会総会

令和５年５月 13 日(土)にうきたむ考古の会の総会を開催しました。出席者は 11 名と少なかったのですが、熱心な討議が行われました。会長挨拶に続き、座長に村山副会長が選任されて議事が進行しました。2022 年度の事業と決算の報告が承認された後、2023 年度の事業案と予算案についての審議が行われ、原案どおり可決されました。

総会後に、散策路が整備された米沢市の鷲城を見学する研修を行いました。昨年も予定したのですが、雨で行けなかったので、2 年越しの行事となりました。敵のいない巨大な山城をパンフレットの案内図を参考に 1 時間強かけて攻略することができました。石川ナンバー等、中部地方の車に乗った若い人も散策していました。大規模な堀切や切岸等、壮大な城を実感できました。

鷲城案内図　　鷲城枡形虎口　　鷲城本曲輪

館事業報告

❤「赤ちゃん手形をつくろう」を５月に開催しました。

●本館の恒例行事の「赤ちゃんの手形をつくろう」を４月 29 日から５月７日までの９日間にわたって開催しました。これまで最長の期間となりました。

予約優先でしたが、コロナ前と同じように、予約なしでも受け付けることとしました。今回は館職員と社会教育課の職員に加え、考古の会の皆さまをはじめとするボランティアの方々の支援を受けました。

９日間実施しましたが、参加総人数は 2,776 名、採取手形・足形は 673 個と当初期待した 1,000 個越えはなりませんでした。

手形は当館での自然乾燥の後、７月前半までに「創造の館」で陶芸同好会の手によっての電気窯で焼成されました。これから、お渡しする準備を行い、８月１日以降に参加者の皆様にお渡しすることとなっています。

ＹＴＳの取材

最年少記録更新の生後 10 日目

手形・足形の乾燥場

❤令和5年度の体験事業について

１　「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

今年度は５月 27 日(土)・７月８日(土)・11 月３日(火・祝日)の開催で、目標 は 70 名に設定していました。これまでに、２回が終了しました。

５月 27 日は勾玉が５名、弓矢が５名、石器が４名、７月８日は勾玉４名、弓矢が３名、石器は前日のキャンセルで参加者なしと少なく、２回が終わった時点での参加者は 21 名と低調です。

２　「ガラス玉をつくろう」

６月 10 日(土)・11 月 25 日(土)の２回開催で、目標 を 20 組としています。６月 10 日は 10 組の参加がありました。

３　「コースターをつくろう」

６月 17 日(土)・12 月２日(土)の２回開催で、目標 ６名としていますが６月 17 日の参加者は４名でした。。

４　「古代風ブレスレットをつくろう」

６月１７日(土)・12 月２日(土)の２回開催で　目標 10 名としています。６月１７日は３名の参加者がありました。

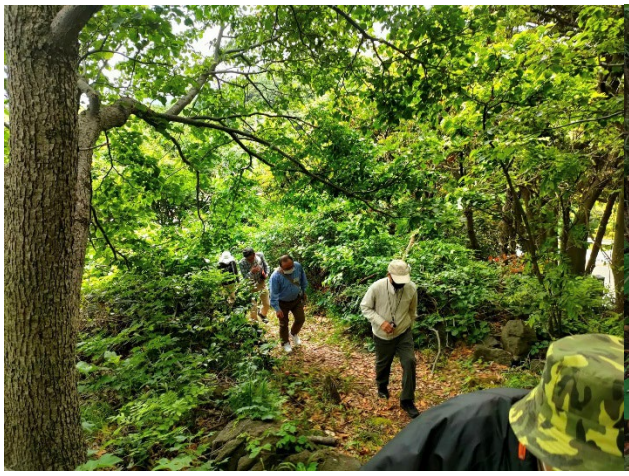
５　「大人の自由研究１－カラムシから繊維をとろう－」

７月１５日（土）の開催で目標を３名としましたが、３名の参加者があり目標をクリアしました。

❤春の遺跡めぐり

春の遺跡めぐりは５月 28 日（日）に開催されました。バスの乗車人数の制限を撤廃したので、定員一杯の 28 名での遺跡めぐりとなりました。行き先は多くの遺跡が調査されている遊佐町でした。天気予報は一日中雨とのことで、覚悟して臨みましたが、主として外回りの午前中はほとんど降られず、十分に楽しめました。

最初は県境の三崎山へ。芭蕉が歩いた峠道を歩きました。車だとアップダウンもなく平坦な道のりですが、江戸時代の旧街道は結構の難所でした。



三崎峠を登る

三崎山旧街道の説明板

次は県内の後期旧石器時代ではもっと古い水林下遺跡を見学しました。海から 300m 程の所にある海岸部の遺跡で、昨年まで３年間発掘調査が行われたが、道路の工事はまだ始まっていませんでした。帰りに名水の神泉の水を味わいました。

水林下遺跡にて

神泉の水を飲む

続いて史跡鳥海山の吹浦口の宮へ。境内の入り口で記念撮影を行い、130 段を超える石段を上り、本殿へ向かいました。大物忌神、月山神の拝殿で参拝しました。

そして、県指定史跡の吹浦遺跡へ。史跡の標柱前で 1983 年から４年間調査した縄文時代前期末の集落と出土品について説明しました。

大物忌神社吹浦口の宮で記念撮影　　大物忌神社・月山神社拝殿で参拝

県指定史跡吹浦遺跡にて　　史跡小山崎遺跡にて記念撮影

次は史跡小山崎遺跡。低地の駐車場の説明板のあるところで記念撮影を行い、斜面の住居跡のある場所などを散策し、丸池様、牛渡川の遊水地、箕輪のサケの孵化場をみて、昼食会場遊楽里へ向かいました。

丸池様の説明板　　遊楽里のロースカツ御膳

ロースカツ膳を頂き、雨足の強くなった午後は平安時代の各遺跡を車中から見て、町指定史跡の中世の大楯遺跡へ。ここの車中からみて、次は土偶が出土した杉沢Ａ遺跡へ。さらに、大物忌神社蕨岡口の宮を経由して遊佐町埋蔵文化財調査室へ、当館でも何回か展示

遊佐町埋蔵文化財調査室にて　　沓澤重吉・小松昌一コレクション展

した小山崎遺跡の出土品を見学しました。最後は旧青山本邸で開催されている沓澤重吉、小松昌一コレクション展を見学し、重要文化財の建物も見学して帰途につきました。

❤遺跡の旅

2019 年以降、コロナ禍で中止していた遺跡の旅は４年ぶりの開催となりました。行き先は４年前の栃木県北部に続き、栃木県中南部。案内は今回も芹澤清八氏にお願いしました。初日の６月 24 日は足利市、佐野市、栃木市、小山市の史跡や展示施設等を見学しました。足利市では史跡足利学校、史跡で国宝や重文の建造物がある鑁阿寺、浄土庭園が復元されている史跡樺崎寺跡を見学しました。

史跡足利学校にて　　国宝鑁阿寺本堂前で記念撮影

史跡樺崎寺跡にて　　史跡樺崎寺跡復元された浄土庭園

ここから佐野市に向かいきた村食堂で佐野ラーメン煮込みセットを頂きました。午後は唐沢山城跡を攻め切り、葛生に向かいました。

昼食会場にて　　唐沢城跡本丸の石垣前にて

葛生化石館は今日から薫蒸で休館とのことで残念ながら見学できませんでしたが、学芸員の方からフズリナの化石を頂きました。7 月 8 日のブラタモリで唐沢山城やこの学芸員さんが出ていてビックリでした。葛生原人出土地で記念撮影し、星野遺跡へ向かいました。

ブラタモリ出演の学芸員さんから化石を頂く　　葛生人骨出土地にて

星野遺跡では記念館と探検館を見学した。記念館では芹沢長介先生と斎藤恒民三の業績が展示されていました。

星野遺跡記念館にて　　星野遺跡探検館にて

そして、史跡下野国庁跡、同資料館を見学し、史跡琵琶塚古墳の後円部頂で記念撮影をして、１日目を終了しました。

夜は宿泊先の小山グランドホテルで懇親会。皆さん、結構な量を召し上がられました。

下野国庁資料館にて　　下野国庁跡

史跡琵琶塚古墳後円部にて記念撮影　　懇親会の様子

二日目は史跡寺野東遺跡から始まりました。ガイダンス施設を見た後、きれいに整備された史跡内を見学しました。その後史跡摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館へ。資料館見学後、展示を見たら、昨日、登らなかった摩利支天塚古墳に登りたいという参加者が続出し、地元の方々がボランティアで草刈中に頂上まで登りました。

寺野東遺跡にて　　摩利支天塚古墳にて

その次は下野風土記の丘資料館で山口課長さんのわかり易く、軽快な口調での展示資料

の説明を受けました。その後、下野国分寺跡の現地で説明を受けました。

下野風土記の丘資料館、下野国分寺跡にて山口課長さんの説明

天平公園で昼食をとり、埋蔵文化財センターの展示も見せて頂きました。次は壬生町の吾妻古墳。「掘る女」に出演された伊沢学芸員さんの説明で下野最大の前方後円墳について説明を受けた。その後、壬生町歴史民俗博物館前でこの古墳の巨大な蓋石と玄門石を見て、一同驚愕しました。

吾妻古墳にて伊沢学芸員さんの説明　　**吾妻古墳の巨大な蓋石**

さらに、資料館で巨大な家形埴輪をはじめとする出土品を見学し、続いて、牛塚、車塚、愛宕塚の各古墳を案内していただきました。壬生町の古墳は周溝がよく残っていました。

大きな家形埴輪　　**車塚古墳の周溝**

最後に行くことになっていた、栃木県立博物館は昨日の葛生化石館と同様燻蒸中で臨時休館だったため、下野薬師寺に変更し、復元された回廊他を見学して帰宅の途につきました。

今回の遺跡の旅は 10 人乗りのレンタカーで館長が運転し、添乗員を兼ねる変則的な旅

下野薬師寺の復元された回廊

旅に使用したレンタカー

となりました。そのため、経費は抑えられましたが、来年からは今までどおりのバスをチャーターしての旅としたいと思いますので、多くの会員の皆さまに参加していただきたいと思います。来年は上州の旅を企画したいと思っています。

♥展　示

●特別テーマ展

「高瀬山の考古学Ⅱ－弥生時代から中世」

6 月 10 日（土）～9 月 3 日（日）

山形県内で最も広く発掘調査された寒河江市高瀬山遺跡の調査成果の展示第２弾として弥生時代から中世の出土品を展示しています。展示内容は以下の通りです。皆様のおいでをお待ちしています。なお、展示図録を印刷中です。

第１章　弥生・古墳時代の高瀬山

１期地区で出土した弥生時代中期の１本線で文様を描く土器です。高瀬山遺跡では唯一の弥生土器です。

高瀬山遺跡の１期調査区、ＨＯ調査区、寒河江市教委調査のﾁｪﾘｰｸｱﾊﾟｰｸ地区で出土した古墳時代前期の土器を展示しています。高坏や器台、壺、甕、甑などがあります。

第２章　奈良時代の高瀬山

高瀬山の歴史時代ではもっとも古い高瀬山Ｋ遺跡から出土した飛鳥時代末から奈良時代の初めの土器を展示しています。

奈良時代の８世紀第３四半期の竪穴住居跡から出土した須恵器、あかやき土器を展示しています。

奈良時代の８世紀第４四半期の竪穴住居跡から出土した須恵器、あかやき土器を展示しています。

第３章　平安時代の高瀬山

平安時代の９世紀第１・第２四半期の竪穴住居跡から出土した土器を展示しています。それに続き平安時代第３・第４四半期の竪穴住居跡から出土した土器を展示しています。

第４章　高瀬山遺跡の墨書・刻書土器

高瀬山遺跡から出土した奈良時代から平安時代の墨書土器、刻書土器を展示しています。

第５章　高瀬山遺跡の瓦・陶硯・金属製品・砥石等

高瀬山遺跡から出土した瓦、陶硯、紡錘車を展示しています。高瀬山から出土した鉄製品と・砥石を展示しています。

第６章　高瀬山遺跡の木製品・中世の陶磁器・かわらけ等

高瀬山遺跡から出土した奈良・平安時代の漆容器と木製品の槌、曲物、櫛、それに中世の陶磁器、かわらけ、曲物を展示しています。

高

７月２・９日（日）に関連講座を開催しました。
講師は前半が植松暁彦氏、後半が渡辺和行氏でした。

●企画展示

第 31 回企画展「山形県内の指定文化財－考古資料－」

9 月 10 日（土）～12 月 4 日（日）

山形県内の出土品で国宝・重要文化財、山形県・市町村指定となっている有形文化財（考古資料）を展示します。

主な展示品の候補は下記のとおりです。

1　旧石器時代

東山遺跡出土品（新庄市指定）、乱馬堂遺跡出土品（新庄市指定）

2　縄文時代前期

一ノ坂遺跡出土遺物（米沢市指定）、彩漆土器附彩漆土器残欠（重要文化財・国所有）、山形県押出遺跡出土品（重要文化財・山形県所有）

3　縄文時代中期

土偶附土偶残欠（国宝・山形県所有のレプリカ「縄文の女神」）、山形県水木田遺跡出土品（重要文化財・山形県所有）、注口土器（県指定・大蔵村白須賀遺跡出土　山形大学所有）、橋上遺跡出土大珠（大江町指定）

4　縄文時代後期

人体装飾付土器（県指定・山形県所有）、竹井境土偶（米沢市指定）

5　縄文時代晩期

土偶（最上郡真室川町大字釜淵字五郎前出土）（重要文化財・山形県立博物館のレプリカ）、硬玉類（県指定・致道博物館所有・寄託）、宮内遺跡出土品（新庄市指定）、黒森堀割基盤層発掘石器土器（酒田市指定）

6　弥生時代

弥生式土器（県指定、大蔵村上竹野遺跡出土・接引寺所有（新庄市ふるさと歴史センター寄託・展示中）、弥生土器（県指定・大蔵村上竹野遺跡出土　山形大学所有）、生石 2 遺跡出土弥生土器（県指定・山形県所有）、石田遺跡出土弥生土器（寒河江市指定）

7　古墳時代

菅沢 2 号墳出土埴輪（県指定・山形市所有（10 月から）、お花山古墳出土品（県指定）、上柳渡戸八幡山出土品（県指定・山形大学所有）、八幡堂遺跡出土紡錘車・紡錘杵・火鑽臼（米沢市指定）

8　奈良時代

円面硯（米沢市西町田下遺跡出土　県指定・山形県所有（当館展示））、漆紙文書（大浦Ｂ遺跡出土　米沢市指定（写真）、蕨手刀（酒田市指定）

9　平安時代

俵田遺跡祭祀遺構出土品附木製品残欠一括(県指定・山形県所有)、古志田東遺跡出土木製品類(米沢市指定)、城輪柵跡出土品(酒田市指定)、堂の前遺跡出土斗、肘木、田下駄、壺(酒田市指定)、篦描宇瓦(酒田市指定)、高瀬山経塚出土品(寒河江市指定)

10　鎌倉時代

中世陶器(執行坂窯跡出土　鶴岡市指定)、高野坊遺跡出土墨書礫(天童市指定)、中世陶器壺・十文字叩壺(楯ノ腰経塚出土　酒田市指定)

12　室町時代

大南遺跡出土木製品(米沢市指定)

企画展開催中に、考古学セミナー、企画展講演会などの関連企画を実施して理解・関心の向上に努めるとともに、展示図録を刊行します。

❤kid’S　考古学新聞コンクール全国巡回展

7月8日（土）～9月22日（金）

令和4年12月1日に審査結果が発表された「第3回kid’s考古学新聞」の入賞作品の巡回展です。10点を展示しています。今年度はロビーでの展示となります。今回も山形県内の児童の入選作はありませんが、力作ぞろいです。ご家族での見学をおすすめいたします。

❤第25期考古学セミナー

企画展のテーマに沿った考古学セミナーを開講し、企画展講演会も開催する。企画展の展示資料について理解を深めて頂くことを狙いとする。

※第25期考古学セミナー。

講座のテーマ「山形県の指定文化財と出土遺跡」

第1回(9月24日(日))

・旧石器時代・縄文時代草創期の指定文化財と関連遺跡

考古資料館館長　　渋谷孝雄

・縄文時代の指定文化財と関連遺跡

(公財)山形県埋蔵文化財センター　　小林　圭一氏

第2回(10月1日(日)

・弥生時代の指定文化財と関連遺跡

(公財)山形県埋蔵文化財センター　　菅原　哲文氏

・古墳時代の指定文化財と関連遺跡

(公財)山形県埋蔵文化財センター　　草野　潤平氏

第3回(10月9日(日))

・奈良～平安時代の指定文化財と関連遺跡

（公財）山形県埋蔵文化財センター　　植松　暁彦氏

・鎌倉・室町時代の指定文化財と関連遺跡

（公財）山形県埋蔵文化財センター　　高桑　　登氏

❤企画展講演会（講師は今後交渉）

11 月 12 日（日）

演　題　　「山形県の指定文化財－考古資料－について」

（公財）山形県埋蔵文化財センター事務局長

山形県文化財保護審議会委員　　高桑　弘美氏

東北情報館

特別テーマ展 **『高瀬山の考古学Ⅱ　―弥生時代から中世―』**
入館料　　一般／200 円　大学生／100 円　高校生以下／無料
６月１０日～９月３日　**うきたむ風土記の丘考古資料館**　　TEL：0238-52-2585

『発掘された尾花沢市の遺跡』
入館料　　一般／210 円　学生／100 円　中学生以下／無料
７月２７日～８月２９日　**芭蕉、清風歴史資料館**　　TEL：0237-22-0104

令和５年度テーマ展 **『おおむかしのくらしと SDGs』**
入館料　　一般／200 円　小中学生／100 円
６月３日～９月１８日　**盛岡市遺跡の学び館**　　TEL：019-635-6600

企画展 **『福島県における古墳出土石製祭祀遺物』**
入館無料
７月８日～８月２７日　**大安場史跡公園**　　TEL：024-965-1088

令和５年度前期企画展 **『秋田城を通る道』**
入館料　　一般／210 円　高校生以下無料
７月１５日～８月２０日　**秋田市立秋田城跡歴史資料館**　　TEL：018-845-1837

令和５年度史跡古津八幡山弥生の丘展示館企画展１
『古津八幡山遺跡発掘調査速報展
―令和４年度の発掘調査成果について―』
入館無料
４月２５日～９月３日　**史跡古津八幡山弥生の丘展示館**　　TEL：0250-21-4133

松山賢展 **『火がつくる文様絵画と土器彫刻**
―縄文文化との接点―』
入館無料　４月２９日～８月２０日　**なじょもん**　　TEL：025-765-5511